

読んで!

見て!



なすから議会だより

第67号

令和5年2月10日



元気に遊ぶ子どもたち（令和4年12月27日撮影）

目次

令和4年第6回12月定例会のあらまし	P 2
令和4年第6回12月定例会の審議結果一覧	P 3
令和4年第6回12月定例会主な質疑	P 4
一般質問（9人）	P 5～9
議会の取組	P 9
常任委員会視察研修報告	P 10～11
特集・あとがき	P 12

発行 那須烏山市議会 ● 編集 議会広報委員会
● 問い合わせ 議会事務局（☎0287-88-7114）



令和4年第6回 12月定例会のあらまし

那須烏山市議会12月定例会は11月30日に招集され、会期を6日間と定め、補正予算案や条例案など計15議案について審議しました。

また、12月1日から5日まで9人が一般質問を行いました。

会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

令和4年度予算を補正

令和4年度補正予算案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。今回補正された歳出・歳入の主な内容は次のとおりです。

会計区分		補正前の額	12月補正予算額	合計
一般会計		122億1724万9千円	2億4147万円	124億5871万9千円
国民健康保険特別会計	事業勘定	32億8004万7千円	9050万円	33億7054万7千円
	診療施設勘定	5147万3千円	49万9千円	5197万2千円
熊田診療所特別会計		4897万円	19万5千円	4916万5千円
介護保険特別会計		29億839万5千円	609万6千円	29億1449万1千円
農業集落排水事業特別会計		6049万8千円	116万6千円	6166万4千円
下水道事業特別会計		3億3730万3千円	318万5千円	3億4048万8千円
水道事業会計	収益的収入	6億4583万1千円	3077万7千円	6億7660万8千円
	収益的支出	5億4310万2千円	1601万5千円	5億5911万7千円
	資本的支出	4億9779万5千円	3185万9千円	5億2965万4千円

▼一般会計の歳出の主な内容	補正額
● 企業版ふるさと納税を活用し、市内出身の大学生へ特産品を送付する支援事業に係る経費	100万円
● 国の政策として「出産・子育て応援交付金」が創設されることに伴う給付に必要な補助金、令和5年度から子ども医療助成費の対象年齢を高校3年生まで引き上げることに伴うシステム改修費等	1064万2千円
● 燃料高騰支援対策としてトラック運送事業者に対する交付金	392万円
● 防災集団移転促進事業計画の移転促進区域の設定等の追加業務に伴う委託料	5500万円
● 臨時交付金を活用した電子図書館サービスの拡充及び電気料高騰支援対策として指定管理者に対する補助金	1486万3千円
● 豪雨（7月27日、9月24日）による被災農地・農業用施設の災害復旧事業費補助金	250万円

▼歳入の主な内容	補正額
● 差し押さえた不動産公売に係る売却代金としての市税	1400万5千円
● 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や防災集団移転促進事業計画策定事業に対する補助金等の国庫支出金	6519万7千円
● 企業版ふるさと応援寄附金	140万円

議会の動き

令和4年11月

10日○議会だより第66号発行
16日○経済建設常任委員会視察（茨城県大洗町ほか17日まで）

22日○議会運営委員会
○議員全員協議会

30日○第6回12月定例会（12月5日まで）

12月

1日○議会広報委員会

2日○JR烏山線利用促進特別委員会

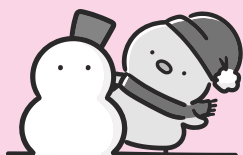
5日○議員全員協議会
○議会改革推進特別委員会

8日○文教福祉常任委員会
○勉強会（JR東日本・基金等）

14日○総務企画常任委員会視察（栃木県下野市）

令和5年1月

16日○議会広報委員会
17日○意見交換会JR烏山線
25日○議会広報委員会



条例改正

○市職員の定年等に関する条例の一部改正について

地方公務員法の一部改正に伴い、一般職の常勤職員に関する定年年齢の引き上げ等、人事制度を定めるため、条例の一部を改正する議案が提出され原案のとおり可決しました。

○地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備について

地方公務員法の一部改正に伴い、定年前再任用短時間勤務職員や給与月額7割制度等、人事制度を定めるため、関係条例の一部を改正する議案が提出され原案のとおり可決しました。

○市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

令和4年8月の人事院勧告に基づき、特別職の国家公務員の特別給が引き上げられることに鑑み、市長、副市長及び教育長の期末手当の引き上げを行うため、条例の一部を改正する議案が提出され原案のとおり可決しました。

○市職員給与条例等の一部改正について

令和4年8月の人事院勧告に基づき、国家公務員と同様に本市職員（診療所医師を含む）の給料及び勤勉手当の引き上げを行うため、関係条例の一部を改正する議案が提出され原案のとおり可決しました。

その他

○指定管理者の指定について

「山あげ会館」と「龍門ふるさと民芸館」の指定管理者を令和5年4月1日から令和10年3月31日まで一般社団法人那須烏山市観光協会に指定、「大金駅前観光交流施設」の指定管理者を令和5年4月1日から令和10年3月31日まで株式会社アド・ワークスに指定する議案が提出され原案のとおり可決しました。

○専決処分の承認を求めることについて

令和4年度予算の一般会計の歳入歳出をそれぞれ1億8971万5千円増額し、補正後の予算総額を122億1724万9千円とする専決処分の承認を求める議案が提出され原案のとおり承認しました。主な内容は、住民税非課税世帯や家計急変世帯等に対する「電力・ガス・食品等価格高騰緊急支援給付金」の給付、「新型コロナウイルスワクチン追加接種」に関し、オミクロン株対応ワクチンの接種が開始され、ワクチン接種期間が延長されたことに伴う予算措置です。

傍聴者数

12月定例会の本会議日程と傍聴者数

月 日	内 容	傍聴者数
11月30日(水)	開会・上程・採決	5人
12月1日(木)	一般質問	8人
12月2日(金)	一般質問	7人
12月5日(月)	一般質問・閉会	16人
計		36人

令和4年第6回12月定例会の審議結果一覧

(全会一致)

※掲載は採決順で渋井議長は表決に加わらない。

議案等		審議結果	議案等		審議結果
議案第8号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度那須烏山市一般会計補正予算(第4号)について)	承認	議案第4号	令和4年度那須烏山市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第9号	那須烏山市職員の定年等に関する条例の一部改正について	可決	議案第5号	令和4年度那須烏山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第10号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備について	可決	議案第6号	令和4年度那須烏山市下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	可決
議案第11号	那須烏山市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	議案第7号	令和4年度那須烏山市水道事業会計補正予算(第3号)について	可決
議案第12号	那須烏山市職員給与条例等の一部改正について	可決	議案第13号	那須烏山市山あげ会館の指定管理者の指定について	可決
議案第1号	令和4年度那須烏山市一般会計補正予算(第5号)について	可決	議案第14号	那須烏山市龍門ふるさと民芸館の指定管理者の指定について	可決
議案第2号	令和4年度那須烏山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	可決	議案第15号	那須烏山市大金駅前観光交流施設の指定管理者の指定について	可決
議案第3号	令和4年度那須烏山市熊田診療所特別会計補正予算(第2号)について	可決			

令和4年第6回

12月定例会の主な質疑



12月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

専決処分の承認を求めることについて（令和4年度那須烏山市一般会計補正予算（第4号））

Q議員 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援金給付事業費1億6535万1千円の内容について伺う。

A健康福祉課長 令和4年度に住民税が非課税世帯の方と、令和4年1月から12月の収入が減少したことによって、住民税が非課税相当となった方を対象に、1世帯当たり5万円給付を行うというものである。申請期間は令和5年1月31日まで、支払いは3月31日までを予定している。

Q議員 新型コロナウイルスワクチン追加接種の体制確保の関係について、今までは計画的な接種でスムーズにワクチン接種ができたが、今回はそれぞれが連絡をして予約を取ることで、電話が繋がらないなど、市民の皆様には不安やわだかまりが起きないような追加接種の体制確保ができなかったのか伺う。

A健康福祉課長 電話が繋がりにくく、ご不便やご心配をおかけした。窓口に来た高齢者の方へは、職員が対応して予約をした状況である。引き続き社会福祉協議会や民生委員、ケアマネジャー等を通じて相談があった方についても、支援をしていただける依頼はしている。今後も引き続きお知らせ版等で周知しながら、ワクチン接種は令和5年3月末まで行っていく予定である。高齢者だけではなく、希望する全員が接種できるよう対応に努めてまいりたい。

那須烏山市職員の定年等に関する条例の一部改正について

Q議員 地方公務員法に定年退職年齢の延長を含む制度改正が規定された。令和5年4月1日から施行される。今まで毎年60歳で退職した職員が65歳まで働き、また職員の新規採用も続けるため、職員は増える。市の人口に対して、職員は何人が適正かという長期見通しをぜひ考えてほしい。

A総務課長 65歳定年延長は、令和14年度に完結する予定で進める。その間の職員数の増というのは、やむを得ない部分がある。定員管理については、人口減少、事務の合理化・スリム化、その他の様々な事業の縮小等も踏まえて、5年ごとに新たに見直しをかける。

Q議員 定年延長で働く場合は、降任前の給与月額7割水準ということであるが、この制度を運用することによる従来の人件費と比較した違いを伺う。また、現在の再任用制度との違いを伺う。

A総務課長 おおむね令和10年度までは、人件費総額が上がっていくと推測している。令和11年度以降になると、退職する方が10名以上になる年が数年続くため人件費は減少すると見込んでいる。

現在の再任用制度は、1年ごとの更新であり65歳まで働くというものである。新たに始まる定年前再任用短時間勤務は、まず、役職定年された方は、定年までフルタイムが条件となるが、少し休みながら仕事に取り組みたいといったところを勘案し、短時間勤務も認めるという制度になる。

ホームページで

一般質問の録画映像を配信しています。

那須烏山市議会 映像

検索

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。傍聴を希望される方は市役所南那須庁舎3階までお越しください。

議会の日程等については、気軽に議会事務局にお問い合わせください。（☎0287-88-7114）

次回の3月定例会は、2月28日（火）開会予定です。

正式な日程は2月21日（火）に開催される議会運営委員会で決定されます。



国内外ともに
明るい年で
ありますように。

中山 五男 議員

J R烏山線存続について

Q JR烏山線は大正12年の開通以来、100年を迎えようとしている。運行車両は蒸気機関車に始まり、今は全国初となる蓄電池駆動電車ACCUMが走行しているが、乗客は減少の一途をたどり赤字経営が常態化している。

JR烏山線の存続は本市の最重要課題と捉えている。そこでふるさと応援寄附金制度を活用してJR東日本の株式を取得し、本市が株主としてJR烏山線の存続を訴えてはいかがか。

A市長 ふるさと応援寄附金制度を活用したJR東日本株式の購入は、寄附者の意向を十分に踏まえながら慎重に検討したい。株式の購入は1つの選択肢と考えるが、費用対効果など調査研究したい。

奨学金の給付効果について

本市の奨学金制度は、貸与型であったものを

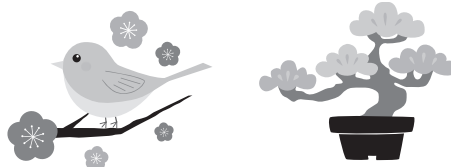
- ①JR烏山線存続について
- ②国体開催による、経済効果等の実績について
- ③奨学金の給付効果について
- ④烏山体育館の解体時期と、旧烏山女子高体育館の利用について

平成19年度から給付型にした。奨学金は、令和3年度までに高校生、短大生、大学生に計5340万円給付されている。

その奨学金給付により卒業後、有能な人材として社会貢献されているか伺う。

A教育長 奨学生には給付期間中、毎年度学校で学んだことや将来の夢などを作文で提出させている。学生時代に必要な知識を習得し、社会人になってからは優秀な人材として成長し活躍しており、奨学金給付条例の目的である「有能な人材育成」に十分貢献していると考えている。

なお、現在の制度開始当初から現在までに奨学金を給付した実人員は、計124名である。



初孫が成人式を
迎えました祝

田島 信二 議員

中山地区盛土について

Q 土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例が改正された。施行後の現場の状況や、条例に基づく対応状況について伺う。

A市長 これまで事業者に対し、条例に基づく報告徴取の実施や土砂等の全部撤去を命じる行政処分を行ってきたが、命令に従わなかったことから9月28日に条例に基づく公表を行った。

現時点においては、土砂等の不適正事案に動きは見られないが、今後も県及び関係機関と連携強化し庁内における横断的な情報の共有、監視、指導を継続し告発も視野に適切に対応する。

レインボーハウスについて

Q 10月28日付けの下野新聞によると、昨年は不登校児童・生徒数が急増し、過去最多の4188人であり、コロナ禍による生活環境の変

- ①中山地区盛土について
- ②レインボーハウスについて
- ③大桶運動公園について
- ④道路工事の進捗状況について

化によるストレスや、教育活動の再開による子供同士の交流増加が一因と分析している。今後、利用者が増加した場合、現在の施設で適切な学習支援ができるのか伺う。

A市長 適応指導教室レインボーハウスの利用登録者は、令和3年度が15名、今年度は9名であり、現在の施設の規模では約20名までの対応が可能である。通室者が増加した場合の対策としては、まなびPCを活用した学習支援により、個に応じた学習活動や遠隔通信による授業が可能となり、指導員不足も補完されると考えている。

今後は、不登校が生じないための魅力ある学校づくりと、不登校の予兆が見られる児童生徒にはスクールカウンセラーや適応指導教室などと連携を図り、適切な学習支援が行えるよう努めていく。



W杯日本代表の活躍
サポーター清掃に感謝

平塚 英教 議員

子ども医療費助成制度について

Q 子ども医療費助成制度について、栃木県は来年度より、無料化の上限をこれまでの小学6年生から中学3年生まで引き上げることを決定している。さらに、県内においても18歳までの医療費助成に踏み切った多くの自治体が出てきているところである。

本市においても18歳までの医療費無料化助成制度の実施を進められたい。

A 市長 子ども医療費助成制度の目的は、子どもの病気の早期発見や必要な医療を安心して受けられるよう医療保険の自己負担を公費で支給し、子どもの健康維持・増進と子育ての経済的な負担の軽減を図ることにある。令和5年度から栃木県の医療費助成の対象年齢が中学3年生まで引き上げられることに加え、コロナ禍での物価高騰が市民生活に及ぼす影響を勘案し、本市

- ①ゼロカーボンシティ宣言の具体化と循環型社会形成推進地域計画の推進について
- ②JR烏山線の利用向上対策と烏山駅周辺整備について
- ③本市の基金積立運用と地方債発行償還の状況について
- ④防災集団移転促進事業について
- ⑤子ども医療費助成制度について

における助成対象年齢を引き上げた場合のシミュレーション等を行い、令和5年度から18歳まで助成対象を引き上げ、現物給付方式による助成を行うことにした。

それを踏まえて本定例会において、子ども医療費助成システム改修費用として補正予算を計上し、議決いただいたところである。令和5年度当初予算には、18歳までの医療費を助成するための費用を計上する予定である。



活発に公園で遊ぶ子ども



お薦めの一冊
『水平線』
(滝口 悠生)

青木 敏久 議員

ごみ減量対策について

Q 買い物会計時に有料レジ袋を希望すれば、市指定のごみ袋を購入できるように取り組んではどうか。

小さいごみ袋は、利便性と高齢者のごみ出し支援につながるのではないかと。

A まちづくり課長 那珂川町との調整も必要であるため、課題として継続的に検討する。

Q 紙類は、燃やすごみの42.7%（2019年）を占めている。雑紙分別のきっかけづくりとして、雑紙回収袋を全戸配布してはどうか。

回収袋の制作は、障害者就労施設等に依頼してほしい。ごみ焼却費用の削減、障害者就労施設からの調達推進、利用者のごみ袋購入費用低減、三方よしではないかと。

A まちづくり課長 検討していきたい。

Q 南那須地区広域行政事務組合は、ごみ処理施

①ごみ減量対策について

設整備基本計画の住民説明会を開催したが、概算整備費91億800万円の事業に対して、参加者が少なかった。ホームページ等でも広報して、自分事として考えるような施策を打ってはどうか。

市ホームページ等で広報したか聞く。

A まちづくり課長 説明会開催については、市ホームページには載せていない。広報については、南那須地区広域行政事務組合として検討する。



千葉市で令和2年度に行っていた取組



福井県のHPで公開されている雑紙回収袋



伝統工芸を
広めたい

福田 長弘 議員

那須烏山市の教育現場のこれからについて

Q 現在、那須烏山市の出生数は、年間100人を切る状況になっている。6、7年後には小学1年生が100人未満になると考えられる。

本市の教育方針に照らし合わせて、小中学校のあり方について、現在どのようなことを検討しているか伺う。

A 教育長 小中学校の適正規模、適正配置の基本的な考え方や、再編整備の具体的方策につきましては、平成25年3月に当時の学校再編検討委員会からの答申を踏まえた検討を行った結果、平成27年に下江川中学校と荒川中学校を統合し、現在の南那須中学校が新設された経緯がある。前回の答申をいただいてから9年が経過し、市内全体においてさらに児童・生徒数の減少が進んでいる状況から、令和5年度に小中学校の適正配置等を協議する検討組織を立ち上げ

- ①市街地の排水処理の現状について
- ②那須烏山市の教育現場のこれからについて

ていきたいと思っている。令和6年度中に答申をいただいた上で、学校の適正化や学校の再編の具体的方策について検討をしていく。

現在、在学中の小中学校生をはじめ、今後小学校へ入学を予定されている幼稚園・保育園児のことを第一に考えた教育環境の実現に向け、検討を進めることとしたい。



児童と先生の昼休みふれあい活動



寒くても
元気一杯！

矢板 清枝 議員

不妊治療への支援策について

Q 令和4年度から、不妊治療の一部が保険の適用となった。出生数の減少や、子どもが欲しくても授けられない夫婦の状況を鑑み、保険適用外の治療費に対する市独自の支援策について伺う。

A 市長 令和5年度から、保険適用外の不妊や不育症の検査・治療を受けた夫婦に費用の一部を助成する新たな制度を創設する検討を進める。**J R 烏山線の利用向上策について**

Q JR東日本に対しSuicaの導入と通学時間帯の増便を要望していただきたいと考えるが、これまでの取組と今後の対応について伺う。

A 市長 令和2年度までは、栃木県及び県内市町合同で、令和3年度以降は、本市独自で要望活動を行っているが良い返事はいただけていない。悲願であるSuica導入と増便について、今後も粘り強く要望活動を継続する。

- ①市職員の意識改革について
- ②不妊治療への支援策について
- ③JR烏山線の利用向上策について
- ④市が運営するスクールバス・幼稚園送迎バスの運行管理について

Q 烏山高等学校の生徒に、通学にかかる費用の一部を助成してはどうか。

A 市長 J R 烏山線で通学する烏山高校生に対し、通学にかかる費用の一部助成する方向で具体的に検討する。

市が運営するスクールバス・幼稚園送迎バスの運行管理について

Q スクールバスや幼稚園送迎バスの安全対策と、来年4月に義務化される安全装置の導入計画について伺う。

A 市長 専門の添乗員とバスの運転手で、後部座席まで確認をしている。また、バスの中にチャイムを取り付け園児自らSOSを発信できるよう訓練を行った。スクールバスでの安全対策は見守りタッチシステムを利用している。安全装置の導入は、学校及び関係者と十分に協議をして、設置の必要性を含め検討していく。



牛乳は100%国産

興野 一美 議員

- ①JR東日本の株式取得について
- ②生ごみの堆肥化について
- ③農業者のインボイス制度について
- ④保育園における使用済みおむつの持ち帰りについて

J R東日本の株式取得について

Q J R烏山線の利用促進を目的とし、J R烏山線開業100周年記念事業に合わせ、株式を取得すべきと考える。財源は、「市奨学金設置及び管理条例」を廃止し、それを原資に株式を取得してはどうか伺う。

A市長 公金の確実かつ効率的な運用を求めている地方自治法の趣旨に鑑みた場合、配当金を



市民の生活の足であるJ R烏山線

を原資とした奨学金の運用については、十分な検討が必要になると考える。

保育園における使用済みおむつの持ち帰りについて

使用済みおむつの持ち帰りは、保護者や保育士にとって大きな負担になり、臭いや衛生面にも

Q問題がある。使用済みおむつの持ち帰りをやめることができないか伺う。

市長 保護者や保育士の負担、衛生面などにおける感染症のリスクもある。まずは、衛生面を

A考慮した保管スペースの確保や、処理の方法を含め、民間保育施設や保護者との協議を行う。公立保育施設のみが進めるわけにはいかないの

で、民間保育施設との足並みをそろえ検討してまいりたい。
Aこども課長 民間保育施設とも慎重に協議をしながら、なるべく早い段階で進めていきたい。



多くの市民のために全力で行動!!

堀江 清一 議員

- ①防災集団移転について
- ②清水川せせらぎ公園の改修工事について
- ③本市の観光人口について

防災集団移転について

Q災害危険区域を指定するとの事だが、いつ頃、指定するのか伺う。

A都市建設課長 災害危険区域の指定は、現在作業を進めている。宮原・下境地区についても大まかな区域の線引きをして、令和5年1月に説明会を行う予定である。

Q宮原・下境地区合わせて30世帯から移転希望書が提出された。今後の進め方について伺う。

A市長 防災集団移転促進事業を早期に実施出来るように国との協議を行う。移転に対する意見がまとまった地域から、段階的に防災集団移転促進事業計画を策定していく。

Q移転先の土地は市として把握しているのか伺う。

A都市建設課長 把握している。

本市の観光人口について

Q令和4年11月6日に行われた第2回メグロ Canyonボール那須烏山の参加料について、見学に来たバイカーから、不評の声が出ていた。本市の印象が悪くならないよう来年は期待している。

A市長 市は、次年度以降も後援という立場になる。事前に参加料、駐車場等のイベント内容周知も含めて、協力、支援してまいりたい。



第2回メグロ Canyonボール那須烏山



今年こそ活性化
実現のスタートの
年にしたい！

小堀 道和 議員

今こそ未来に夢が広がるまちづくりが必要

Q 宇都宮大学地域デザイン科学部で、授業の一環として本市の地域活性化をテーマに取り組み、市民に対してアンケート調査を実施した。

我が市の将来性について、「町の発展が期待できない」、「寂れていく一方だ」など未来に夢が持てないと思う人がいかに多いかを思い知った。我が市への要望は「メグロで盛り上がっている山あげ会館に直売所を併設し、道の駅として再整備すべき」、「大胆な発想をすべき」との声があり、今こそ未来に夢が広がるまちづくりが必要と考えた。山あげ会館の横に道の駅をつくり、清水川せせらぎ公園もセットにして、「山あげメグロ清水川ファミリーパーク道の駅」と命名しオープンしてはどうか。大胆に考えるの意見があったが、わくわくどきどきするような未来に夢が広がるまちづくりについての見解を伺う。

- ①今こそ未来に夢が広がるまちづくりが必要
- ②本市の学力調査結果報告について
- ③中学生の自転車事故防止の取り組みについて

A市長 明るく夢が広がるまちづくりには、わくわくどきどきは必要不可欠な要素であるが、人それぞれ考え方が異なり何が正しいかを順位づけることは困難である。次期総合計画策定に向けた意見交換会で、市民の思いや考えを市政に反映する仕組みを強く望んでいることを強く感じた。市民主体のまちづくり、市民参加のプロセスが成就感や達成感へとつながり、市民のわくわくどきどき感が醸成されると考えている。



議員が考える「山あげメグロ清水川ファミリーパーク道の駅」イメージ

タブレット端末を導入しました

那須烏山市議会では、議会改革に関する取組の一環としてタブレット端末を導入しました。

今後は議会内のICTリテラシーを高めながら、ペーパーレスによる省資源化の推進や、事務局・議員間での迅速な情報共有、議員活動の活性化に向け、本会議や各種委員会、議員全員協議会等において積極的な活用を図り、効率的な議会運営を目指していきます。



タブレット端末利用者講習会

JR烏山線の利用向上を推進します

JR烏山線の利用向上の一環として、9月定例会と12月定例会の最終日に、本市議会議員がJR烏山線を利用して議会に登庁しました。

JR烏山線は、JR東日本が令和4年7月に公表した平均通過人員が令和元年度実績において1日当たり2000人未満である「利用が少ない線区」の1つとなっています。こうした状況を踏まえ、市議会としても、存続に向けた取組や利用向上を推進していきます。



12月定例会最終日、大金駅前にて

常任委員会で行政視察研修を行いました

総務企画常任委員会 日程：11月1日(火)～11月2日(水)

当委員会は、11月1、2日の2日間にわたり、静岡県伊豆の国市及び神奈川県平塚市の行政視察を行いました。

伊豆の国市では、し尿処理施設が本年3月に竣工し、し尿や浄化槽汚泥を下水道放流方式で処理しています。本市管内においては、南那須地区広域行政事務組合でし尿や浄化槽汚泥を処理していますが、建物の老朽化により新たに建設する計画を立てています。本市の下水道は、当初の処理計画を大幅に縮小して運営しており、処理能力に余力があります。下水道につながるためには前処理施設等を建設する必要がありますが、今あるものを利用し新たな下水処理施設を建設しないという方法も、大きな選択肢の一つではないかと考えております。

平塚市では、大規模地震による被害が想定されており、市民への防災知識の普及を図る目的で総合防災訓練が行われています。本市とは比較にならないほど大都市でしたが、学校や消防、警察等の公的機関のほか、市民団体や地元企業

等、計56団体約3000人が参加した市民協働による総合防災訓練の話を伺い、市民一人ひとりの防災意識の高さや、効果的な連携体制を構築する大切さを感じました。本市でも令和元年東日本台風により甚大な被害を受けたばかりであり、日頃から危機感を持ち防災意識を高めていくことはとても重要だと感じました。

(総務企画常任委員長 滝口 貴史)



新し尿処理施設の説明を受ける委員(伊豆の国市)

文教福祉常任委員会 日程：11月7日(月)～11月8日(火)

当委員会は、11月7、8日に福島県須賀川市及び石川町を視察しました。須賀川市では、小中一貫教育について、施設一体型小中一貫教育校である「須賀川市立義務教育学校稲田学園」を視察しました。稲田学園は「連続的で協同的な学びの実現」「不登校といじめ事案の未然防止」「小中学校の教員の指導力の向上」を目標とし、小中一貫教育により小学校・中学校という枠組みではなく、9年間を見通したカリキュラムで質の高い教育が行われていました。

また、「中一ギャップ」(小学校を卒業して中学校へ進学した際、これまでの生活とは異なる環境に順応できなくなること)が見られず、「この学区では不登校の児童生徒が一番少ない」と教育委員会の報告をいただきました。本市のこれからの学校のあり方を検討して行く上で有意義な視察となりました。

石川町では「文教福祉複合施設モトガッコ」を視察しました。この施設は廃校舎をリノベーショ

ンし、図書館、公民館、子ども・子育て支援の拠点等として利活用した複合施設で、令和3年度にはグッドデザイン賞を受賞。石川町のまちなか再生行動計画に基づき「欲しい暮らし、自分たちでつくりよう」をコンセプトに多くの町民が運営の計画段階から参画し、まさに官民共同の取り組みを行っていました。

(文教福祉常任委員長 福田 長弘)



文教福祉複合施設モトガッコを見学する委員(石川町)

経済建設常任委員会 日程:11月16日(水)~11月17日(木)

当委員会は、11月16、17日に茨城県大洗町及び宮城県登米市の視察研修をしました。

大洗町は、令和元年東日本台風により被災し、現在、被災箇所において防災集団移転促進事業を進めています。本市でも同様の事業を進めており、大洗町の現在の状況を視察しました。大洗町では、移転先の候補地が確立していること、県職員が町に出向することで県と町の連携がスムーズに行われていること、町からの財政負担を少しでも軽減できるよう工夫を凝らした対策を講じていくことなどを伺うことができました。

登米市では、登米市の地域ブランド認証事業とビジネスチャンス支援事業について視察しました。地域ブランド認証事業では、首都圏・近隣都市圏等のホテルや飲食店に職員が訪問し、販路の拡大や事業者の育成サポートを実施していました。

また、ビジネスチャンス支援事業では、産業支援、創業支援、空き店舗活用支援の三本柱でビジネスのスタート、ステップアップを支援しており、

昼食は支援を受けて実際に起業したお店を訪問しました。本事業の支援を受け、企業した事業者が地元で愛される飲食店として活躍している姿に大変感銘を受けました。

今回の視察の結果を今後の市政に活かせるよう、常任委員会委員一同取組んでまいります。

(経済建設常任委員長 矢板 清枝)



マリントワー大洗で被災場所の説明を受ける委員(大洗町)

総務企画常任委員会 県内視察研修報告 日程:10月21日(金)

当委員会は、所管のまちづくりに関する「ごみの再資源化」をテーマとして、10月21日に高根沢町及び益子町の行政視察を行いました。

高根沢町では、容器包装リサイクル法に基づき、プラマークのついた容器包装プラスチックの分別収集を月2回行い、コークスに再商品化を図るなどの取組を行っていました。

益子町では、生分解性プラスチックの袋で生ごみの分別収集を週2回行い、委託業者に持ち込み堆肥化しています。堆肥になるまでに約40日かかるそうですが、堆肥化された後は町民の皆様に無料で配布されています。

分別収集には、住民のご理解とご協力は不可欠ですが、両町とも積極的に分別収集を行い、再資源化を図る取組を推進することで、カーボンニュートラルの実現に向けて前進しています。

(総務企画常任委員長 滝口 貴史)

文教福祉常任委員会 県内視察研修報告 日程:10月12日(水),14日(金)

当委員会は、本市が計画している認定こども園の整備に伴い、10月12日及び14日に那須烏山市、さくら市及び高根沢町の幼稚園、保育園等の保育施設計4か所の現地視察を行いました。

どの施設もその園の考え方が随所に取り入れられ、園児が快適に過ごせるよう、保育環境に配慮された設計や間取りになっていました。建物の造りについては「敷地が確保できるのであれば1階建てがよく、広い園庭で遊ばせることが出来る方が良い」「園内のスペースに配慮した部屋の配置にすべき」など、各施設の担当者や保育士から貴重な意見を伺うことができました。

4か所とも建築環境は様々でしたが、本市の園児たちにとってより良い施設を整備するために参考になった視察になりました。

(文教福祉常任委員長 福田 長弘)

特集

今回は、帰農志塾塾長の戸松正行さんです。
 帰農志塾は1976年に先代塾長が日本の野菜が美味しくないので、自分で美味しい野菜を作って食べたいところから始まりました。豊かな土から育つ作物には生命力があり、農薬を使わずとも成長するそうです。帰農志塾は、スタッフ以外に独立希望者も受け入れており、本塾生の様な農業者を増やし、食を通してお互いに学び理解し、成長しあえる環境作りを目標としています。



帰農志塾の塾生や仲間たちと

那須烏山市を拠点に
 素敵な活動をしている方を紹介！



戸松さんファミリー

本人プロフィール
 住所:中山1041
 市在住歴:15年
 出身地:新潟県
 趣味:酒と漫画

戸松さんの夢は、「皆が食でもっと幸せになって欲しい」。戸松さん自身食べるのが大好きで、美味しい食事と酒のために働いていて、そのために食べものや生き物の素晴らしさを多くの人に伝えたいとのこと。市民の皆様には、「那須烏山市は野菜を含め美味しい食べ物が育つ所だと自慢して欲しい」。戸松さんに本市への思いを尋ねると、「どこで生きるかよりも、どのように生きるかだと思うので那須烏山市で最高に幸せに生きようと思う」と笑顔の回答でした。
 (文責 小堀 道和 議員)

議場コンサートを 開催します

- 日 時: 3月3日(金)9時20分から
(定例会本会議開会前)
 - 場 所: 市役所南那須庁舎3階 議場
 - 内 容: 烏山高等学校吹奏楽部による金管五重奏
 - 曲 名: 屋根裏猫の夕べ
- ※入場無料、事前申込不要です。

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止となる場合がございます。予めご了承ください。



あ と が き

新しい年を迎え、市民の皆様におかれましては、輝かしい希望あふれる新年をお迎えのことと思います。

12年前の卯年は、東日本大震災や原発事故で甚大な被害、歴史的円高により、一時1ドル75円32銭になるなどいろいろなことがありました。

今年の干支はウサギであり、「癸卯」にあたる年、「癸」は十干の最後であり、一つの物事が収まり次の物事へ移行していく段階。兔は跳ねる特徴がある為、景気が上向きに跳ねる、回復する、昨年までの様々なことに区切りがつき、次へと向かっていく、そこに成長や明るい世界が広がっていくと言われています。

一日でも早い新型コロナウイルス感染症の終息を願うとともに、立春とは名ばかりでまだまだ寒い日が続いております。市民の皆様、くれぐれもご自愛ください。

(興野 一美 議員)

